

様式1

令和6年度 学校評価表

学校教育目標		「『高くかかげよ』～夢と志を抱き、仲間とともに、高め合う子どもの育成～」	
a ミッション	深い学びの実現を目指したコミュニケーション能力の育成 日比崎中学校は、①「学力を伸ばす場」 ②「仲間を大切にし、正しい関わりを学ぶ場」を具体的に実現する	a ビジョン	○生徒・保護者・教職員・地域が誇りに感じる学校 ○教職員一人一人の能力が、最大限に発揮される学校 ○組織的・機能的な学校経営が確立している学校

尾道市立日比崎中学校

評価計画						自己評価					学校関係者評価			改善計画	
	b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案
						g 達成値	g 達成値				イ	ロ	ハ		
高くかかげよ～夢と志を抱き、仲間とともに高め合う子どもの育成～	＜カリマネによる学校づくり＞コア・カリキュラムとしての「サバプロ」と「赤船祭」の深化による主体性・コミュニケーション能力の育成	＜研究部：チームラボ＞ <u>コミュニティスクールを活用し、地域社会との連携と生徒発信力を高める学習活動の実施</u> ①「学力を伸ばす」⇒「主体性・コミュニケーション能力」	○生徒会や学級の話し合いから生徒発信で挑戦したいことを決め、単元開発を行う。 ○各教科や各領域で地域と連携した取り組みを進める。 ○授業や生徒会活動において、学校は「学力を伸ばす場」であることを意識させる。	○総合的な学習の時間の授業満足度 ○実施の有無 ○生徒アンケート	○平均85%以上 ○平均80%以上 ○平均80%の以上	○90% ○実施サバプロ2年総合 ○90%		111%	A	○今年度においても各教科や各領域で話し合い活動を充実させている。特に、特別活動の話し合い活動では、議長団を中心に生徒が主体となって進めている。総合的な学習の時間においても、準備期間であるため、3年リーダー会で話し合い活動は実施できたが、クラス単位の話し合いを実施できていない。2学期以降で計画的に進めていきたい。 ○サバプロでは、尾道市防災課、尾道商業高校、被爆体験者と連携した活動を設定できた。 ○学力を伸ばす場であることを意識した授業や生徒会活動が見られた。	7			○達成度としては高い評価です。サバプロに於いて、尾道防災課、尾道商業高校、被爆体験者との連携により活動が実現し、この取組は地域防災や教育に貢献する第一歩と思われます。 ○学力を伸ばす場であることを意識したのは、目標設定と振り返りが出来ていたと思われます。 ○学校環境の整備を行って下さい。学習環境を整え、充実した教材や設備等に図書内容の充実により学習意欲をアップできると 생각합니다。 ○サバプロ、赤船祭を通して、それぞれの生徒が成長していく姿が見られることも素晴らしいです。 ○全体的に目標値を上げて良いのではないのでしょうか。 ○赤船祭を通して生徒さんの長所が伸びていると思います。サバプロの計画会議に今年度も参加できればと思っています。 ○今後も継続して取り組んで頂ければと思います。	○今後もサバプロの実施に向けての計画が予定されており、昨年度に引き続き学校運営協議会を活用し、サバプロリーダーによる計画のプレゼンテーションでの地域公開や当日の協力を通して活動の深化を目指す。 ○生徒主体並びに地域連携の取組を通して、生徒の主体性やコミュニケーション能力の向上を図る。
		＜生徒指導部：ポジティブ＞ <u>伝統の再生を目指しながら達成感とあこがれ感を高める学校行事「赤船祭」のバージョンアップ</u> ②「正しい関わり」⇒「教え合いや指摘し合う姿」	○感動と涙と歌声と笑顔あふれる卒業証書授与式（行事を通した「達成感」と「あこがれ感」の醸造や歌声の再生【伝統の再生】）。 ○生徒会を中心とした行事運営を行う。生徒発信を基礎とし、リーダーや役割を与え、主体性を持って、一人一人が活躍できる場を設定する。	○行事満足度 「達成感・あこがれ感」学校評価・生活調査アンケート ○自尊心アンケート	○80%以上 ○80%以上	平均95% 平均78%			平均108% A	○赤船祭（体育的行事）を実施した。応援合戦や競技種目などを生徒主体で考え、行事の運営も生徒主体でできるように職員全体で意識して取り組み、赤船祭の振り返りからは達成感や憧れ感、一体感に関する記述が多く見られ、生徒の成長を感じ取ることができた。 ○自尊心アンケートは昨年度から6%向上した。「自分は誰かの役に立っている」が73%、「自分は好きである」が73%、「自分は価値ある人間だと思う」が74%と低い。しかし昨年度から7%、9%、11%向上している。引き続き自信を持たせる活動や賞める声掛けを継続して行ってきたい。 ○赤船祭（体育競技の部）は全員が大きな声を出して元気があって良かった。応援合戦でそれぞれのチームで考えて工夫してあり良かったが、毎年同じ流れで各チーム似た感じなのでその辺りを変えても良いと思う。開会式の校歌は普通に歌って欲しい。	7			○自己肯定感を上げる声かけや行動を。 ○生徒の意見をまず受け入れること。 ○「ダメ」なことはいくつかを尊重することが大切。 ○行事満足度はかなり高い数値だと思います。生徒会を中心とした行事運営の成功は、生徒のリーダーシップとチームワークの素晴らしい証だと思います。学校コミュニティ全体に活気と喜びをもたらしたと思います。 ○行事満足度を上げるために、フィードバックの収集を細かくして下さい。行事後に参加者からのフィードバックを積極的に収集し、改善点や改良点を把握し、次回に活かして下さい。 ○リーダー会での話し合いをクラス単位の話し合いに進めていく上で、生徒の悩みもあるかと思いますが適時先生方でのアドバイスをお願いします。サバプロ、赤船祭の進化（深化）を楽しみにしています。 ○生徒主体とすることで、結果として自尊心向上にも繋がっているのではないかなと思う。生徒発信ではあるが、プラス褒める声かけは気持ちの向上にも繋がると思う。 ○例年はうだったと言う定着感がある。新しい応援合戦の型を生徒が考えて欲しい。	○自己肯定感を高める為、普段の声かけを大切にしつつ、生徒が自分を認める場や機会の設定。進歩や過程を褒める機会。集団活動の中で役割を与え、集団意識を高めることなど指導の工夫をしていきたい。
		＜カリマネによる授業づくり＞「課題設定と話し合い活動の深化」と「ICTの活用」による課題発見・解決力の育成	○ICT機器を活用するなど各教科での話し合い活動がよりスムーズに深くできるような方法を探索する。 ○本質的な問いを活かした単元開発を行う。 ○教科・領域・コアカリキュラムが絡んだ学習活動を意識し、地元企業とも連携する。 ○学習のねらいに迫る問いや評価の吟味。	○「課題発見・解決学習」にかかわる15項目 ○ICT機器にかかわる項目 ○各教科の授業満足度	○平均80%以上 ○平均80%以上 ○平均80%以上	○未実施 ○88% ○85%			110%	A	○ICT機器を活用した授業展開が多々見られるようになった。インタラクティブな教材やオンラインリソースを活用することで、授業内容を多様化し生徒の興味を引きつけたと思います。 ○「発表」ということを苦手とする生徒の意見や想いをICTを活用して取り落とし、認められたことと自信をつけていくよう指導していただければありがたいと思います。 ○学校行事を通して心を育てているのだと感じます。 ○ICT機器を活用した授業は今後も継続して頂ければと思います。	7			○ICT機器を活用した授業展開が多々見られるようになった。インタラクティブな教材やオンラインリソースを活用することで、授業内容を多様化し生徒の興味を引きつけたと思います。 ○「発表」ということを苦手とする生徒の意見や想いをICTを活用して取り落とし、認められたことと自信をつけていくよう指導していただければありがたいと思います。 ○学校行事を通して心を育てているのだと感じます。 ○ICT機器を活用した授業は今後も継続して頂ければと思います。
高くかかげよ～夢と志を抱き、仲間とともに高め合う子どもの育成～	＜カリマネによる授業づくり＞「課題設定と話し合い活動の深化」と「ICTの活用」による課題発見・解決力の育成	＜生徒指導部：ポジティブ＞ <u>道徳・学活における「課題設定・話し合い活動」と「ICT活用」</u> ②「正しい関わり」⇒話し合い活動により「道徳性や合意形成力・意志決定力」を身に付けた姿	○課題の充実（学びの意欲を高める「本質的な問い」の工夫）。 ○行事ごとのPDCAのポスター掲示。 ○「そもそも」を活かした話し合い活動の充実。（道徳・学活） ICT機器を活用するなど、個人の意見が見えるように、効果的なコミュニケーションを図る。 ○学級集団づくりの深化。	○学級満足度（合意形成力）【学校評価・生活調査アンケート】【学校生活に関するアンケート】 ○授業満足度（道徳・学活）【学校評価・学校生活アンケート】【学校生活に関するアンケート】	○80%以上 ○80%以上	平均86% 平均91%		平均110% A	○行事に向けてや学級目標など話し合い活動は充実できた。ICT機器を活用して、意見の集約や比較をすることで効果的に活用することができた。道徳では、「そもそも」を活かした話し合い活動を行うことで、物事をより深く考えることができた。 ○行事や学期中の写真や決意などをまとめ、掲示することで自分たちの活動を振り返ることができた。	7			○学級満足度・授業満足度が高いです。学級満足度と授業満足度が高いことを維持することは、持続的な学習意欲や成長を促進し、学校全体の教育水準を向上させる重要な要素だと思います。 ○アンケートでの学習時間が生徒・保護者共に気になる結果ですが、いかに集中している状況にあることです。 ○ICTを取り入れ出して数年が経ちましたが、何か弊害は出てませんでしょうか。便利なものには落とし穴がありますから。	○学校行事との連関での学活や考え議論する道徳教育の充実、ICT機器の活用による個の意見の見える化や意見の集約・比較による効果が成果として見られた。引き続き取組を推進する。 ○行事後の振り返りをさらに充実させることで成長の姿を生徒自身が認め、自尊感情の向上にも努める。	
		＜教務部：ファイン＞ <u>学校教育活動の積極的な発信</u> 学校教育活動の発信を通じた保護者・地域からの信頼の向上	○ホームページ、各種おたよりの定期更新。 ○日比崎中学校校外掲示板の計画的な活用。 ○地域の事業所との情報発信に向けた連携。	○保護者地域満足度【保護者アンケート】	○80%	○86%			108%	A	○ホームページの更新を計画的に実施した。 ○学校運営協議会を活用して学校の取組の発信や地域と連携した教育活動の展開を実施していきたい。	7			○「悩みなどを気軽に相談できる先生がいると思う。」の評価が低い。業務的ではなく「子ども」と思うのではなく、話を聞いてあげられる環境、「先生」という立ち位置ではなく「話を聞いてくれる大人」という立場をつくって欲しい。 ○ホームページの更新を計画的に実施したことは保護者満足の上で重要です。 ○ホームページの更新により見やすくなっていると思う。今後も継続、取り組みをして頂ければと思います。
高くかかげよ～夢と志を抱き、仲間とともに高め合う子どもの育成～	＜信頼される学校づくり＞一年を通して感動・涙・歌声・笑顔あふれる教育活動を通じた信頼される学校づくり	＜教務部：ファイン＞ <u>教職員の働きがい高め、働き方改革に対応した新しい学校づくり</u> 学校に来ることが楽しい生徒や生徒の成長を喜ぶ教職員の姿を通じた保護者・地域からの信頼の向上	○日々の業務改善に向けた取り組み、これまでの通例の見直し。 ○学校行事や活動においての、プロジェクトチーム会議の充実。	○働き方改革アンケート【教職員アンケート】 ○行事満足度【生徒アンケート】	○80% ○80%	○未実施 1年94% 2年88% 3年98%		108%	A	○赤船祭を中心とする行事を実施し、満足度は非常に高い結果となった。学年間で結果に見られることが分かった。2学期に行われる赤船祭では1、2年生についてもリーダーを中心とした行事への取り組みを充実させたい。	7			○赤船祭を中心とした行事の推進成功は、取組の成果だと思います。 ○放課後での教育活動の推進について公民館での活動を促進したい。具体的には、休日や放課後を活用したダンス、習字、英会話などの活動推進などに取り組んでいただき、先生方が心身共に元気で働いていただけるようお願いいたします。 ○中学の先生ほどやりがいや働きがいがある職業はないと存じます。ただそれは一人ひとりの先生の大きな志と大変な努力と努力の上であること、本当に頭が下がります。今後も日比崎の子ども達の為よろしく願いいたします。 ○各学年で目標を決めていたので、リーダーを中心とした取組を継続して頂ければと思います。	○サバプロや赤船祭（文化発表の部）に於いても、生徒主体の取組を継続し、資質能力の向上を図る。 ○引き続き校内環境を整備し、業務の円滑な遂行と不祥事防止に努めることで業務改善を進める。

【自己評価 評価】

A：100≦（目標達成）
C：60≦（もう少し）<80

B：80≦（ほぼ達成）<100
D：（できていない）<60

【外部評価】 イ：自己評価は適正である。ロ：自己評価は適正でない。 ハ：わからない。

方策進行管理シート

令和6年度 尾道市立日比崎中学校

	目標達成のための方策	活 動	4月	5月	6月	7月	活動 達成度	方策 達成度	取組 評価
			目標数 達成数	目標数 達成数	目標数 達成数	目標数 達成数			
カリマネによる学校づくり	生徒会や学級の話合いを通じた生徒発信と単元開発	総合的な学習の時間の授業満足度	平均85%以上				90%	110%	A
	生徒会専門委員会の取組との連携	コミュニケーション能力にかかわる項目	実施の有無				実施 2年総合		
	教科・領域・コアカリキュラムが絡んだ学習活動と地域連携並びに企業連携						平均95%		
	感動と涙と歌声と笑顔あふれる卒業証書授与式（行事を通じた「達成感」と「あこがれ感」の醸造や歌声の再生【伝統の再生】）	行事満足度 「達成感・あこがれ感」学校評価・生活調査アンケート	平均80%以上						
カリマネによる授業づくり	生徒会を中心とした行事運営 生徒発信を基礎とし、リーダーや役割を与え、主体性を持って、一人一人が活躍できる場の設定	自尊心アンケート	80%以上				75%	88%	B
	ICT機器を活用するなど各教科での話合い活動がよりスムーズに深くできるような方法の探求	「課題発見・解決学習」にかかわる15項目	平均80%以上				未実施		
	本質的な問いを活かした単元開発	ICT機器にかかわる項目	平均80%以上				88%		
	教科・領域・コアカリキュラムが絡んだ学習活動と地元企業との連携	各教科の授業満足度	平均80%以上				85%		
	学習のねらいに迫る問いや評価の吟味	学級満足度（合意形成力） 【学校評価・生活調査アンケート】 【学校生活に関するアンケート】	80%以上				平均 86%		
	課題の充実（学びの意欲を高める「本質的な問い」の工夫） 行事ことのPDCAのポスター		80%以上				平均 91%		
	「そもそも」を活かした話合い活動の充実。（道徳・学活）	授業満足度（道徳・学活） 【学校評価・学校生活アンケート】 【学校生活に関するアンケート】	80%以上						
	学級集団づくりの深化								
信頼される学校づくり	ホームページ、各種おたよりの定期更新	保護者地域満足度 【保護者アンケート】	80%				86%	75%	C
	校外掲示板の計画的な活用	働き方改革アンケート 【教職員アンケート】	80%				未実施		
	地域の事業所との情報発信に向けた連携		80%				93%		
	日々の業務改善に向けた取組と通例の見直し	行事満足度 【生徒アンケート】							

【取組評価】 A: 100 ≤ (目標達成)

B: 80 ≤ (ほぼ達成) < 100

C: 60 ≤ (もう少し) < 80

D: (できていない) < 60